

俳句ポスト 冬の部 特選句

森 悦子 選 (白山市俳句協会)

手仕事を側に置くなり日向ぼこ	福井県	大崎 昌子
数へ日や名刺の裏の走り書	福井県	木津 和典
湧水に枯葉舞散る山の茶屋	金沢市	山田 昭
白山へ続く空あり柿吊す	能美市	森田 香津美
蔵元の杉玉青し新酒買ふ	中町	佃 久美子
蒔絵重真中に据えて年始	あさひ荘苑 三丁目	畝村 早緒美
暮早し海鳴り聞こゆ妙成寺	柏町	大浦 春美
故郷は知る人もなく冬木立	美沢野町	永盛 富佐恵
みしみしと足音楽し深雪かな	鶴来本町	北山 美和
村時雨宿場名残りの深庇	金沢市	出戸 京子
冬ざれの山は骨格さらしけり	小松市	中村 幸子
茶の花や生家の墓へ細る径	金沢市	羽柴 瑞枝
母編みし手袋どれも紐のあり	兵庫県	保理江 順子
ふくみたる白湯の甘さよ一葉忌	東京都	牟田 英子
星寒し画鋏の残る掲示板	愛知県	与玖法破来
大根のことこと煮えて宵の月	徳丸町	川野 よしこ
読初の万葉の歌恋の歌	八ツ矢町	戸田 敬子
冬銀河新しい道ゆく二人	専福寺町	土谷 奈緒子
賜わりし米寿の重み落葉踏む	富山県	中河 照子
薄錆の刃物研ぐ朝寒の水	東京都	新川 進司

選者吟

雪原や研ぎ澄まさるるオリオン座

森 悦子

〈令和2年11月～翌1月 投句者数 113人,投句数639 句〉